

職員提案

提案件名	新たな“市民朝市”の開催の在り方を考えよう！
1 現状及び課題	<p>市民朝市は昭和57年11月に“生産者と消費者の交流の場”として発足し、毎月第一日曜日の早朝のイベントとして長い歴史の中で多くの市民から親しまれて30年以上になります。</p> <p>市民朝市の会場である行政センター駐車場は、厚生連伊勢原協同病院が8月に開院することに伴い、相互利用として有料化が予定されており、会場として使用できなくなる可能性が高い状況にあります。歴史ある「朝市」を継続していくためには課題を解決する必要性があります。</p>
2 提案内容	<p>今までの市民朝市は市域のほぼ中心部で実施していたが、今後は各地区で開催したり出品数やイベントなどを充実し、“地域のふれあいの場”としての“新たな市民朝市”の検討を提案します。</p> <p>○開催時期 平成27年度4月より</p> <p>○開催場所(案)</p> <p>4月～7月 J Aいせはら高部屋・大田支所駐車場(高部屋・大田地区)</p> <p>8月～9月 J Aいせはら比々多支所駐車場(比々多地区)</p> <p>10月～11月 J Aいせはら本所駐車場(伊勢原地区)</p> <p>12月(納め市)～1月(初売り市) 伊勢原市総合運動公園自由広場</p> <p>2月～3月アマダ駐車場(成瀬地区)・J A大山支所駐車場(大山地区)</p> <p>○実施方法の検討</p> <p>各地区の農協を中心に協力を要請することや開催場所の地の利を活かして、開催場所ごとに参加団体を募集するなどの内容の検討をする。</p>
3 予想される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮!(とれたて)安い!(一般店よりも安い?)などの相乗効果が現れる。 ・各地区の生産者とのふれあいから、地域コミュニティの活性化につながり、消費者の購買意識が高まり、経済状況に明るさが期待される。
審査会の実施等に関する所見	実施に向けて更に検討することが適当であると認められる。